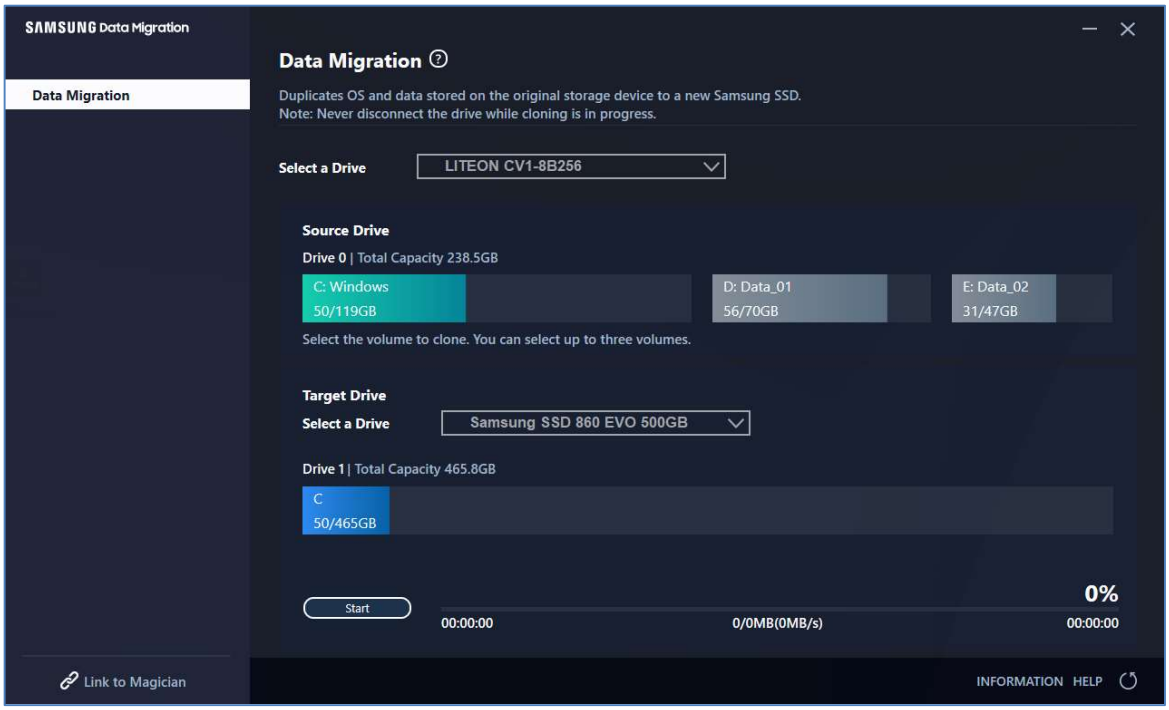
Samsung SSD Data Migration v.4.0

ユーザーマニュアル



SAMSUNG

Copyright ©2020

SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.

このユーザーマニュアルの著作権は、Samsung Electronics に帰属します。本書またはその一部の不正な複製、使用、または開示は、著作権法に基づいて固く禁止されており、違反になります。Samsung Electronics は、製品、情報、および仕様を予告なく変更する権利を留保します。
本書に記載されている内容および情報は、本書発行の時点で正確かつ信頼できると考えられますが、Samsung Electronics は、本書に記載されているすべての内容および情報の正確性、完全性、および信頼性を明示的にも暗黙的にも保証しません。

商標およびサービスマーク

Samsung のロゴは Samsung Electronics の商標です。Adobe および Adobe Acrobat は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。その他すべての会社名および製品名は、関連する各社の商標である場合があります。

はじめに

Samsung Data Migration ソフトウェアは、既存のストレージデバイス（HDD など）からすべてのデータを新しい Samsung Solid State Drive（SSD）に迅速、簡単、かつ安全に移行できるように設計されています。

Samsung Data Migration ソフトウェアを使用すると、現在のオペレーティングシステム、アプリケーションソフトウェア、およびユーザーデータを新しい Samsung SSD に簡単に移行できます。

Samsung Data Migration ソフトウェアは、Clonix Co., Ltd. が、Samsung SSD の所有者専用に開発および配布しています。

注意事項

1. このソフトウェアを使用して、ソースドライブ（HDD など）の内容を複製する場合、ターゲットドライブ（Samsung SSD）上のすべてのデータは削除され、復元できなくなります。そのため、引き続き保持するデータをターゲットドライブに保存している場合は、事前にそのデータをバックアップしてください。
2. Samsung Electronics は、このソフトウェアの使用中にターゲットドライブで発生する可能性のあるいかなるデータ損失についても一切責任を負わず、データ復元サービスを提供する責任も負いません。複製が失敗した場合でも、ソースドライブに保存されているデータは影響を受けません。
3. このソフトウェアを使用してソースドライブをターゲットドライブ（Samsung NVMe SSD）に複製する場合は、必ず、先に Samsung NVMe ドライバーをインストールしてください。

改善点

1. 新しいモデルのサポート
2. 複製の互換性向上

システム要件

コンポーネント	最小要件
オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 (32/64 ビット)
	Windows 8 (32/64 ビット)
	Windows 8.1 (32/64 ビット)
	Windows 10 (32/64 ビット)
PC メモリ (RAM)	1 GB 以上
インストールに必要なドライブ領域	100 MB 以上
サポートされるパーティションタイプ	MBR、GPT
サポートされる言語	日本語
最小画面解像度	1600x900
ソースドライブ	サポートされているオペレーティングシステムがインストールされている HDD または SSD
ターゲットドライブ (Samsung SSD)	Samsung SSD 980 シリーズ
	Samsung SSD 980 PRO
	Samsung SSD 970 PRO
	Samsung SSD 970 EVO
	Samsung SSD 970 EVO Plus
	Samsung SSD 960 PRO
	Samsung SSD 960 EVO
	Samsung SSD 950 PRO
	Samsung SSD 870 EVO シリーズ
	Samsung SSD 870 QVO シリーズ
	Samsung SSD 860 EVO シリーズ
	Samsung SSD 860 PRO
	Samsung SSD 860 QVO
	Samsung SSD 850 EVO シリーズ
	Samsung SSD 850 PRO
	Samsung SSD 840 EVO シリーズ
	Samsung SSD 840 シリーズ
	Samsung SSD 840 PRO シリーズ
	Samsung SSD 830 シリーズ
	Samsung SSD 470 シリーズ

制限事項

1. このソフトウェアは、ユーザーマニュアルに記載されている Windows オペレーティングシステムのみをサポートしています。

2. このソフトウェアは、ユーザーマニュアルに記載されている Samsung SSD のみをサポートしています。コンピューターメーカーまたはその他のチャネルから提供された OEM ストレージデバイスはサポートされていません。

3. このソフトウェアは、オペレーティングシステムがインストールされているソースドライブのみを複製できます。オペレーティングシステムがインストールされていないドライブを複製することはできません。

4. ソースドライブに 2 つ以上のボリューム (例: C:、D:、E: などのドライブレターが割り当てられたボリューム) がある場合、このソフトウェアは、オペレーティングシステムがインストールされている C: ボリュームと、他の 2 つのボリュームを複製できます。Windows のインストール時に自動的に作成されたシステム予約済みパーティションは、自動的に複製されます。

5. 工場出荷時にコンピューターメーカーによって作成された OEM パーティションは複製されません。ただし、コンピューターメーカーが Samsung であり、SRS (Samsung Recovery Solution) 5、SRS 6、または SRS 7 がインストールされている場合は、自動的に複製されます (SRS 5 より古いバージョンはサポートされていません)。

6. ソースドライブをターゲットドライブに複製した後、両ドライブのデータサイズが数 GB 異なる場合がありますが、これは正常です。このソフトウェアでは、オペレーティングシステムによって自動的に作成され、管理される仮想メモリ (ページファイル、休止状態ファイルなど) は複製時にコピーされません。

7. このソフトウェアでは、暗号化されたドライブは複製できません。暗号化されたドライブを複製するには、最初にそのドライブのパスワードを解除する必要があります。

8. 複製時にマザーボードチップセットドライバーが最新でない場合、このソフトウェアは正しく機能しない場合があります。

9. コンピューターに複数のオペレーティングシステムがインストールされている場合 (例: Windows 7 が C: ボリュームにインストールされ、Windows 8 が D: ボリュームにインストールされている)、複製されたドライブは正しく機能しない場合があります。

10. ソースドライブが損傷している場合 (例: 不良セクターがある)、複製されたドライブは正しく機能しない場合があります。

11. このソフトウェアを使用してドライブを複製する前に、開いているプログラムをすべて閉じて、十分なメモリを割り当てることをお勧めします。

12. コンピューターにインスタントリカバリソフトウェアがインストールされている場合、このソフトウェアは正しく機能しない場合があります。

13. ソースドライブをダイナミックディスクに変換している場合、このソフトウェアは正しく機能しない場合があります。

14. 複製から除外するファイルをスキャンする際に、Program Files フォルダー、Windows フォルダー、およびごみ箱フォルダーは表示されません。

15. ターゲットドライブが Samsung NVMe SSD で、そのドライブに Samsung NVMe ドライバーがインストールされていない場合、このソフトウェアは正しく機能しない場合があります。

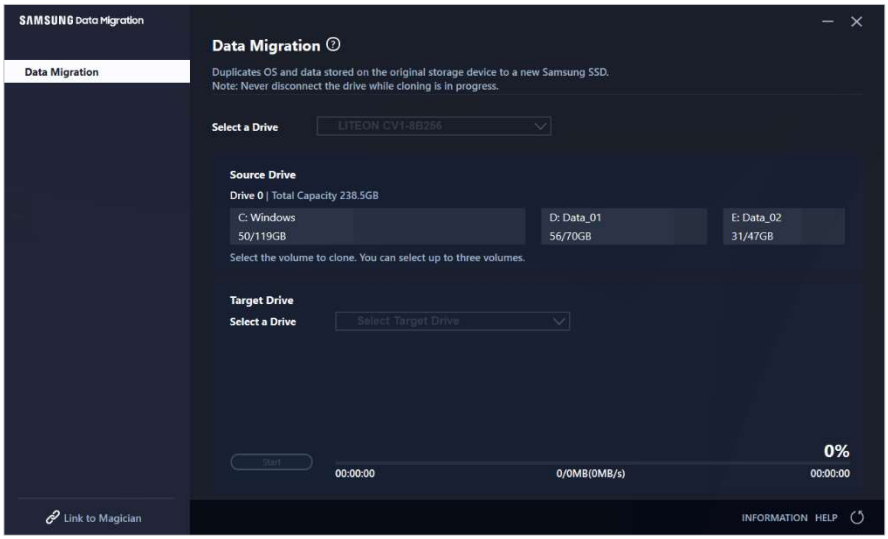
16. ポータブルデバイス (例: 外付け USB デバイス) が複製用のターゲットドライブに接続されている場合、このソフトウェアは USB アダプターが原因で正しく機能しない場合があります。

17. 元のドライブにインストールされている OS バージョンが GPT パーティションをサポートしていない場合、および 2 TB を超えるドライブで冗長化が行われている場合、MBR パーティション タイプは冗長化構成のドライブに適用されます。MBR は大容量ドライブに対応していないため、2 TB を超える領域では未割り当ての状態となります。

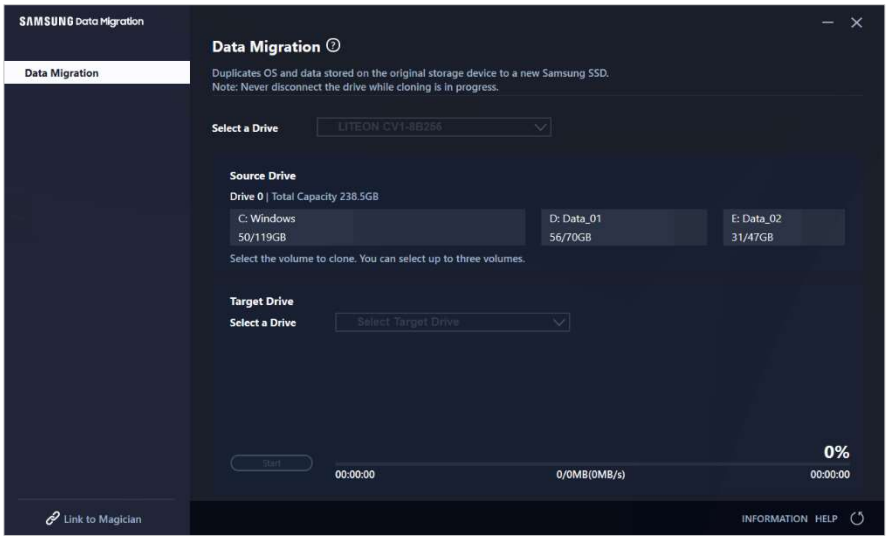
ユーザーガイド

1. ソースドライブに保存されているデータ容量がターゲットドライブの容量より小さい場合

ステップ 1. 移行を開始します



ステップ 2. ターゲットドライブを接続し、選択します

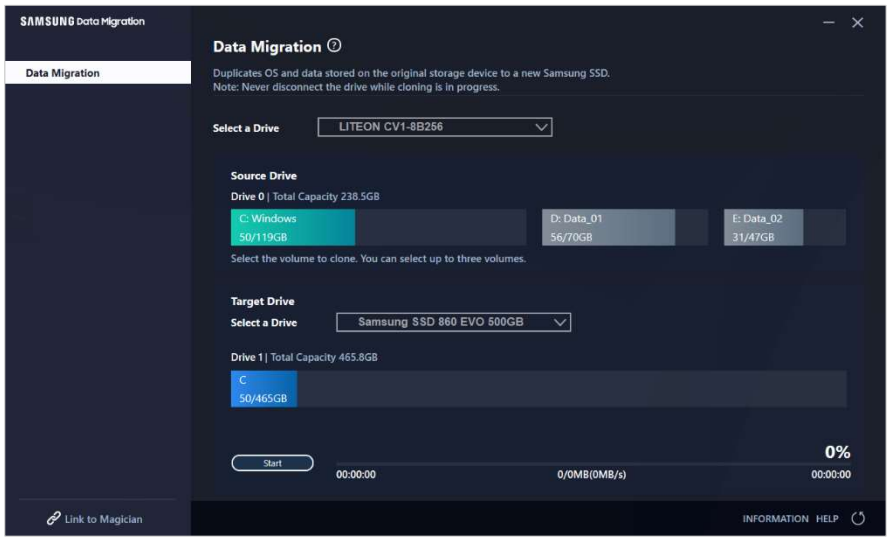


① ターゲットドライブを接続します。
② ターゲットドライブが認識されるように、[更新] ボタンをクリックします。ターゲットドライブが正常に接続されていると、画面でターゲットドライブを選択できます。
③ ターゲットドライブを選択します。

※ mSATA SSD を接続する場合、別途 mSATA/SATA 変換コネクタまたは mSATA/USB 変換コネクタが必要になる場合があります。
※ NVMe M.2 SSD または SATA M.2 SSD を接続する場合、別途 それぞれのインターフェースに対応した M.2 /USB 変換コネクタが必要になる場合があります。

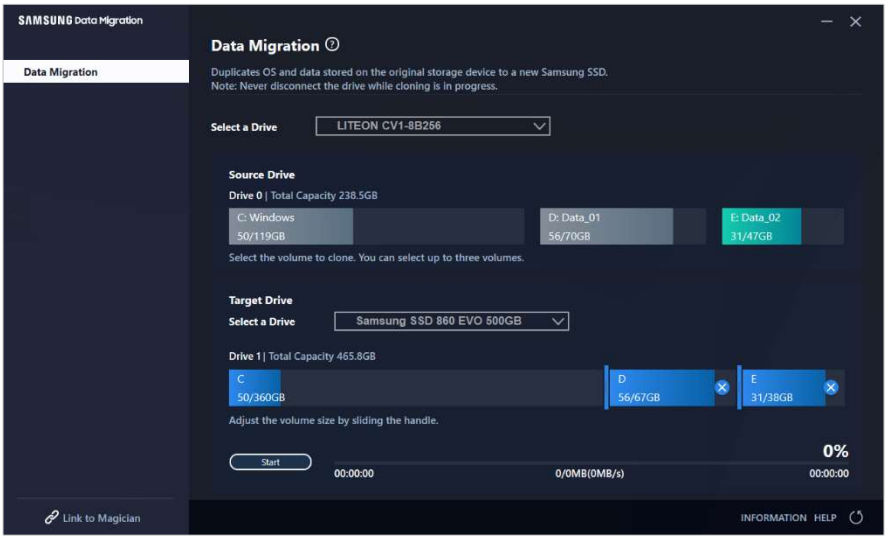
ステップ 3. ソースドライブに、C: ボリュームを除く 2 つ以下のボリュームがあり、それらのボリュームもターゲットドライブに複製する場合は、ステップ 4 に進みます。
ソースドライブに、C: ボリュームを除く 3 つ以上のボリュームがあり、それらのボリュームもターゲットドライブに複製する場合は、ステップ 5 に進みます。
ソースドライブの C: ボリュームのみをターゲットドライブに複製する場合は、ステップ 6 に進みます。

ステップ 4. 複製するボリュームを選択します (ソースドライブに、C: ボリュームを除く 2 つ以下のボリュームがあり、それらのボリュームもターゲットドライブに複製する場合)。



① マウスを使用して、[ソースドライブ] ペインから追加で複製するボリュームをすべて選択します。

※ C: ボリュームを含め、3 つまでボリュームを選択できます。

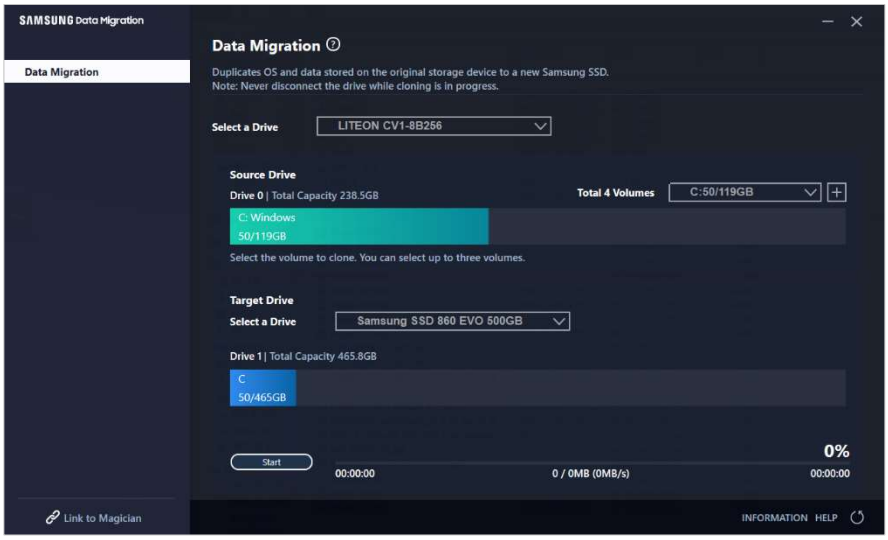


② [ターゲットドライブ] ペインで、スライドバーを使用して各ボリュームの容量を調整します。

※ 追加したボリュームを削除するには、[ターゲットドライブ] ペインで、該当するボリュームの [X] アイコンをクリックします。

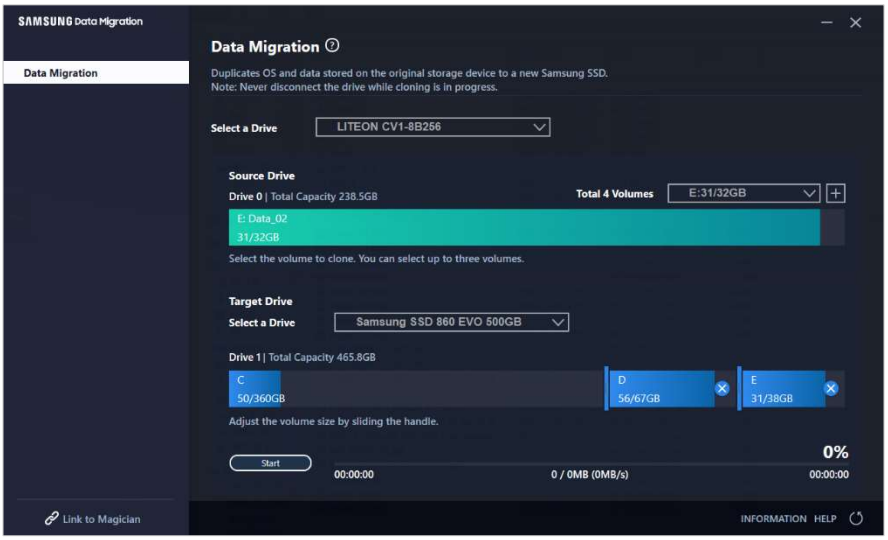
※ ボリュームを追加する場合、最小追加容量は 20 GB です。

ステップ 5. 複製するボリュームを選択します (ソースドライブに、C: ボリュームを除く 3 つ以上のボリュームがあり、それらのボリュームもターゲットドライブに複製する場合)。



① [ソースドライブ] コンボボックスから追加で複製するボリュームをすべて選択し、[+] ボタンをクリックします。

※ C: ボリュームを含め、3 つまでボリュームを選択できます。

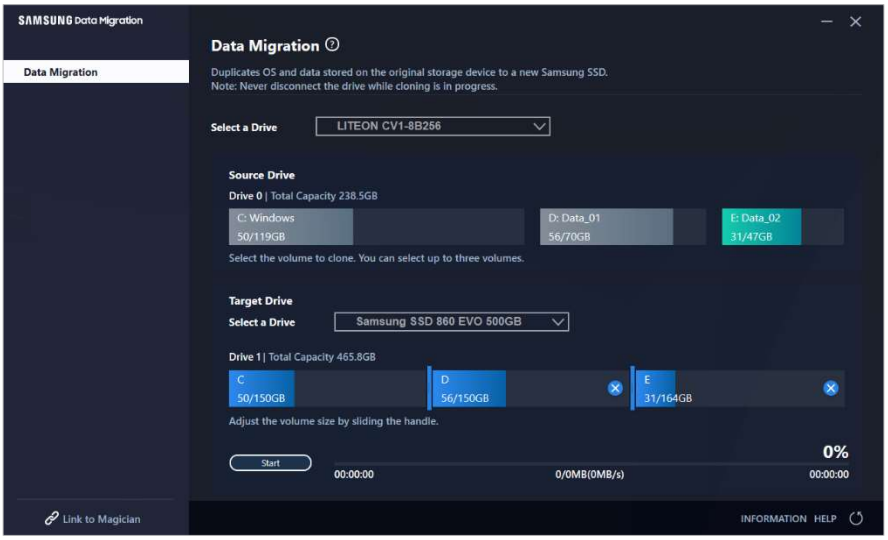


② [ターゲットドライブ] ペインで、スライドバーを使用して各ボリュームの容量を調整します。

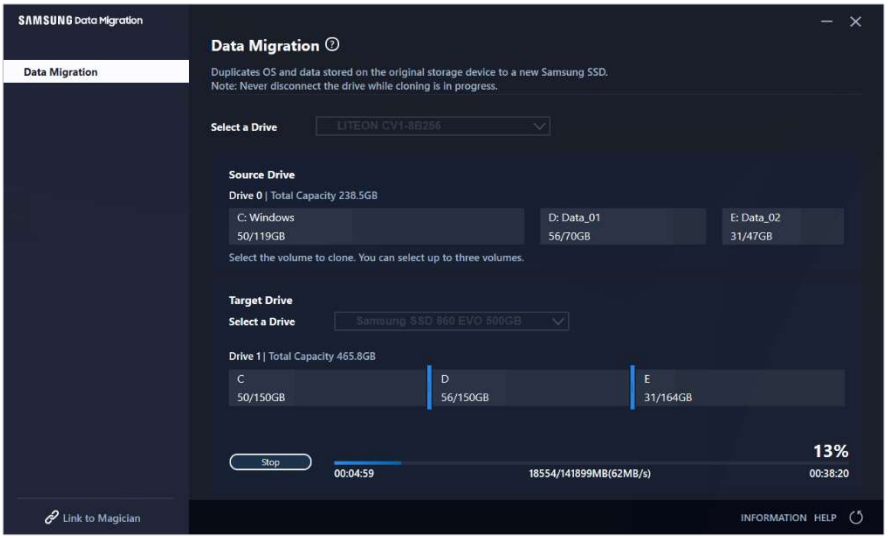
※ 追加したボリュームを削除するには、[ターゲットドライブ] ペインで、該当するボリュームの [X] アイコンをクリックします。

※ ボリュームを追加する場合、最小追加容量は 20 GB です。

ステップ 6. 複製を開始します



ステップ 7. 複製が実行されます

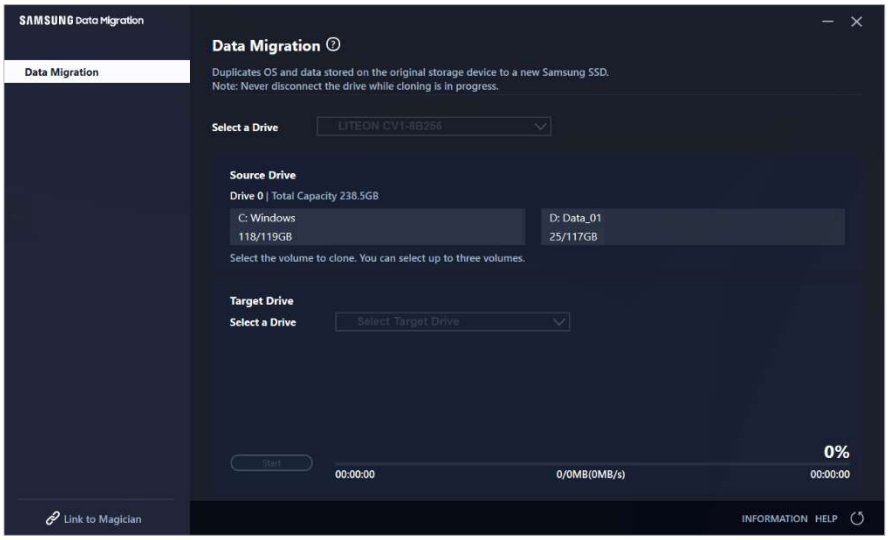


※ 複製速度は、コンピューターの性能や動作環境によって異なる場合があります。

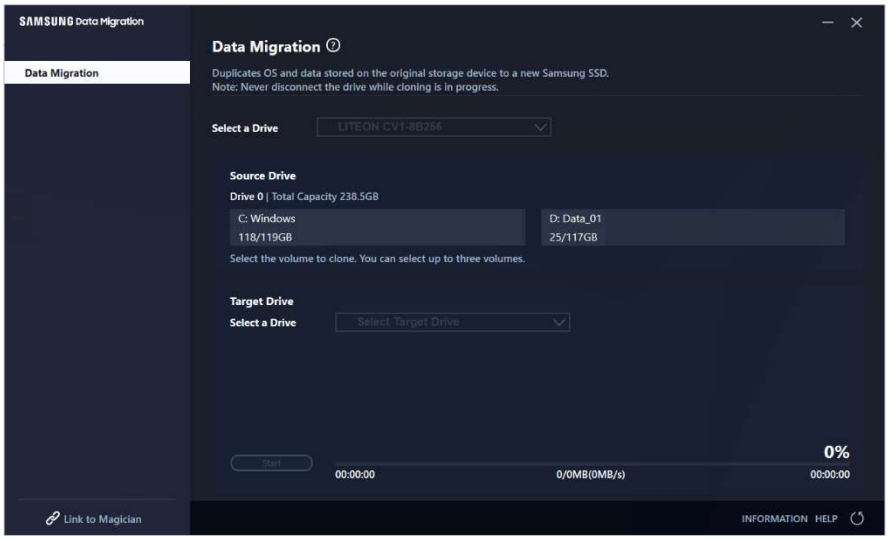
※ 複製プロセスが完了すると、コンピューターは 20 秒以内に自動的にシャットダウンします。

2. ソースドライブに保存されているデータ量がターゲット ドライブの容量より大きい場合

ステップ 1. 移行を開始します



ステップ 2. ターゲットドライブを接続し、選択します



① ターゲットドライブを接続します。

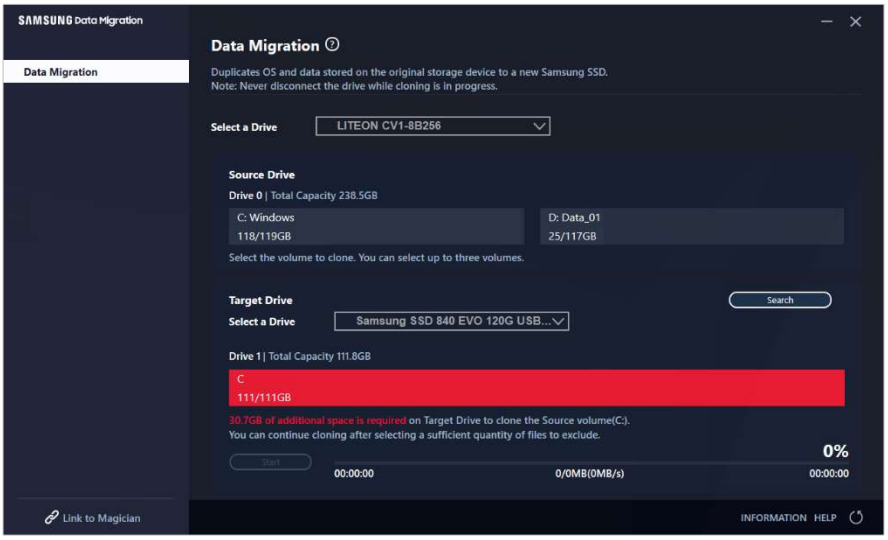
② ターゲットドライブが認識されるように、[更新] ボタンをクリックします。ターゲットドライブが正常に接続されていると、画面でターゲットドライブを選択できます。

③ ターゲットドライブを選択します。

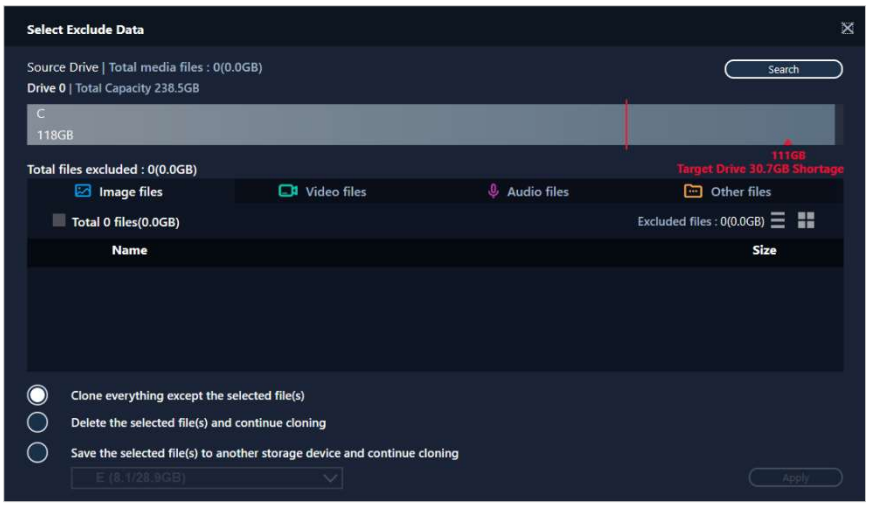
※ mSATA SSD を接続する場合、別途 mSATA/SATA 変換コネクタまたは mSATA/USB 変換コネクタが必要になる場合があります。

※ NVMe M.2 SSD または SATA M.2 SSD を接続する場合、別途 それぞれのインターフェースに対応した M.2 /USB 変換コネクタが必要になる場合があります。

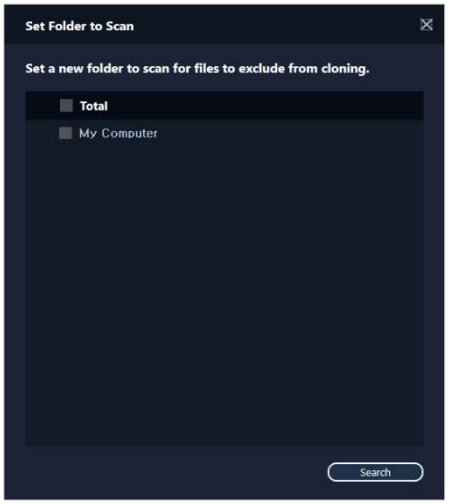
ステップ 3. 複製から除外するファイルをスキャンするフォルダーを選択します



① [除外データの選択] ボタンをクリックします。



② [スキャンするフォルダーの設定] ボタンをクリックします。

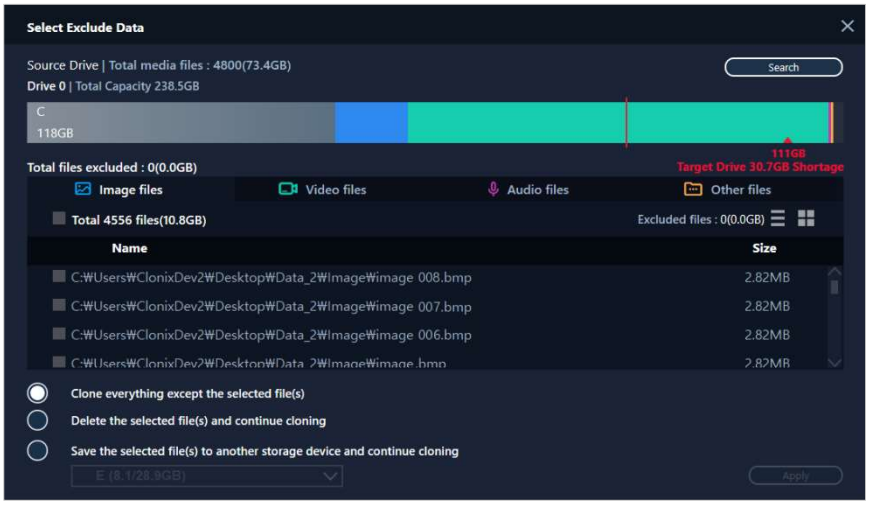


③ 複製から除外するファイルをスキャンするフォルダーを選択します。

④ [検索] ボタンをクリックします。

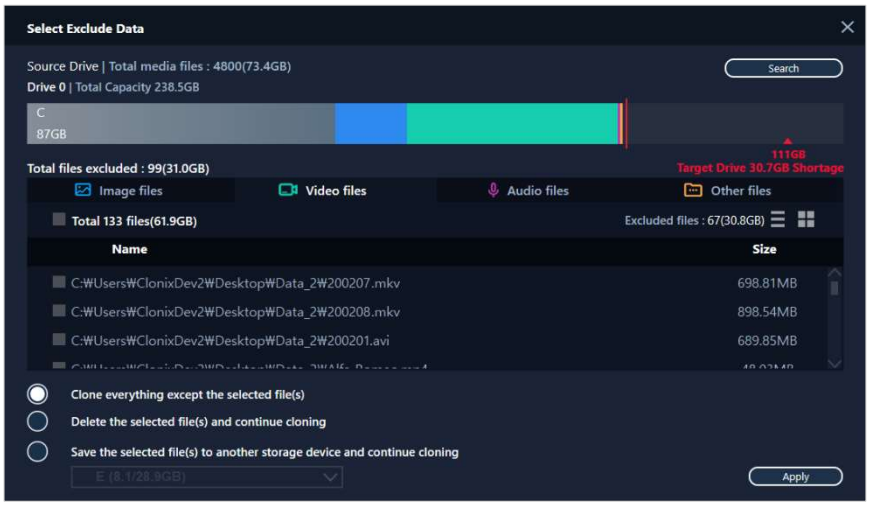
ステップ 4. [除外データの選択] 画面に、除外対象ファイルのリストが表示されたら、ステップ 5 に進みます。
[除外データの選択] 画面に、除外対象ファイルのリストが表示されない場合は、ステップ 3 に戻り、複製から除外するファイルをスキャンするフォルダーを再度選択します。

ステップ 5. 複製から除外するファイルを選択します



① 複製から除外するファイルの合計サイズが、右上に表示されている領域不足を示すメッセージに指定された容量に等しくなるまで、複製から除外するファイルを選択します。

ステップ 6. 除外対象ファイルを処理する方法を選択します

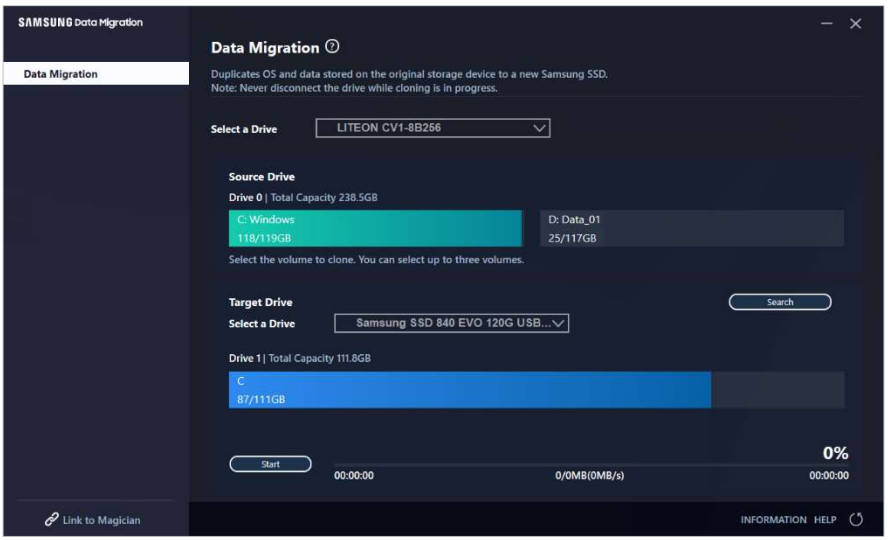


① 除外対象ファイルを除いてドライブを複製するには、[選択したファイルを除くすべてを複製] オプションを選択します。
除外対象ファイルをソース ドライブから削除して、複製を進めるには、[選択したファイルを削除して、複製を続行] オプションを選択します。
除外対象ファイルを別のストレージデバイスに保存して、複製を進めるには、[選択したファイルを別のストレージ

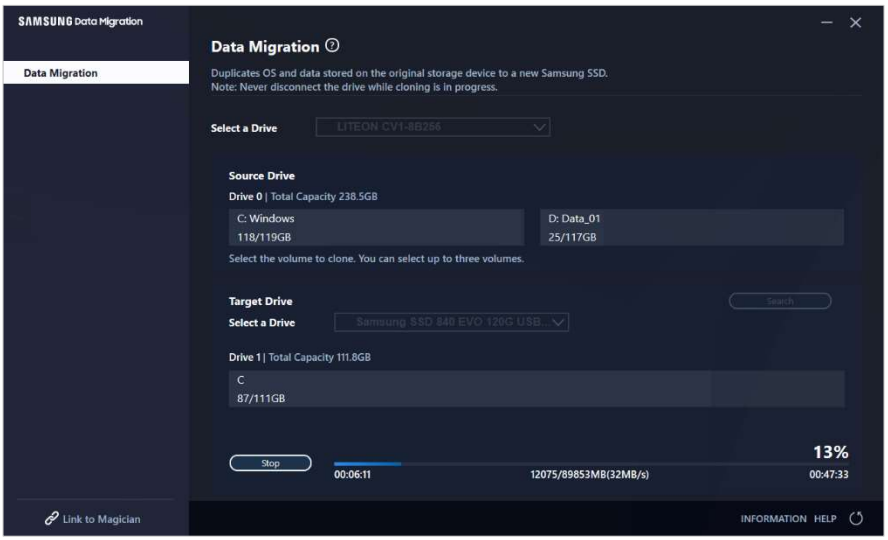
デバイスに保存して、複製を続行] オプションを選択してから、除外対象ファイルを保存するストレージデバイスを選択します。

② [適用] ボタンをクリックします。

ステップ 7. 複製を開始します



ステップ 8. 複製が実行されます



※ 複製速度は、コンピューターの性能や動作環境によって異なる場合があります。

※ 複製プロセスが完了すると、コンピューターは 20 秒以内に自動的にシャットダウンします。

3. 複製されたターゲットドライブからの起動

3-1. ターゲットドライブが USB 経由で接続されている場合

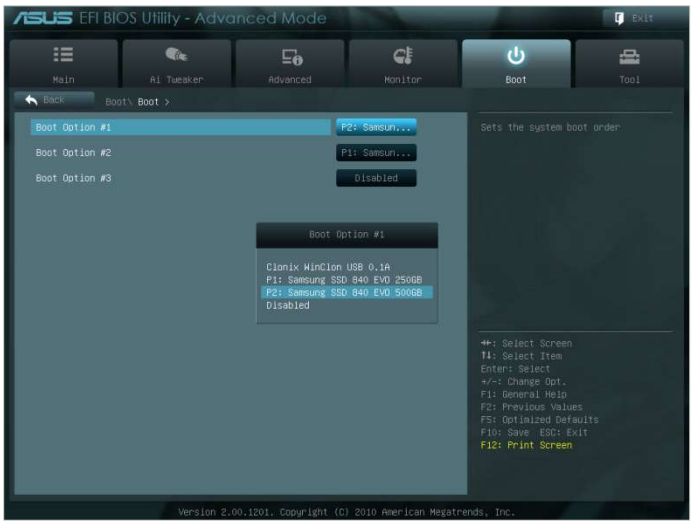
ステップ 1. ターゲットドライブをコンピューターの内部に接続します

① ターゲットドライブから USB ケーブルを抜きます。
② 複製されたターゲットドライブを接続します。

※ コンピューターの内部に接続できるドライブが 1 つのみの場合は、ソースドライブを取り外し、複製されたターゲットドライブを接続します。

ステップ 2. 複製されたドライブが起動されるように起動優先度を変更します

① コンピューターの電源をオンにし、BIOS アクセスキーを使用して BIOS 画面を表示します。
② [Boot] メニューを開きます。



③ ターゲットドライブをソースドライブの上に移動し、複製されたドライブの起動優先度を高くします。
④ [F10] キーを押して変更内容を保存します。
⑤ [ESC] キーを押して BIOS 画面を終了します。

※ コンピューターメーカーまたはマザーボードの仕様によっては、BIOS アクセスキーや起動優先度の変更方法が異なる場合があります。

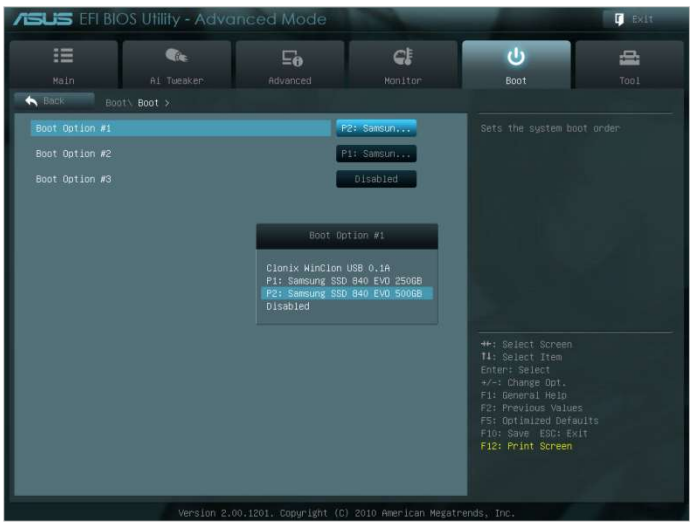
ステップ 3. ターゲットドライブから起動します

① ターゲットドライブのオペレーティングシステムが起動するかどうかを確認します。

3-2. ターゲットドライブが SATA 経由で接続されている場合

ステップ 1. 複製されたドライブが起動されるように起動優先度を変更します

① コンピューターの電源をオンにし、BIOS アクセスキーを使用して BIOS 画面を表示します。
② [Boot] メニューを開きます。



③ ターゲットドライブをソースドライブの上に移動し、複製されたドライブの起動優先度を高くします。
④ [F10] キーを押して変更内容を保存します。
⑤ [ESC] キーを押して BIOS 画面を終了します。

ステップ 2. ターゲットドライブから起動します

① ターゲットドライブのオペレーティングシステムが起動するかどうかを確認します。

※ コンピューターメーカーまたはマザーボードの仕様によっては、BIOS アクセスキーや起動優先度の変更方法が異なる場合があります。

FAQ

1. 製品の使用方法

1. ソフトウェアを実行したところ、ターゲットドライブの選択コンボ ボックスが無効になっています。
   → ターゲットドライブの選択コンボボックスが無効になるのは、ターゲットドライブが適切に接続されていないか、存在しないことを意味します。
   → 次のようにして、ターゲットドライブが適切に接続されているかどうかを確認できます。

* ターゲットドライブの接続を確認する方法

a. ハードウェアインタフェースの接続を確認します
   → USB アダプターまたは SATA ケーブルが、ターゲットドライブに適切に接続されているかどうかを確認します。

b. Windows の [ディスクの管理] からターゲットドライブを確認します
   → [ファイル名を指定して実行] ボックスに「diskmgmt.msc」コマンドを入力し、[Enter] キーを押して [ディスクの管理] を開きます。ターゲットドライブがリストに表示されるかどうかを確認します。

c. ソフトウェアを更新します
   → ソフトウェアのメイン画面の右下隅にある [更新] アイコンをクリックし、ドライブの情報を更新します。

2. ソフトウェアを実行すると、[選択したドライブではこの機能はサポートされていません。] というメッセージが表示されます。
   → ターゲットドライブが正常に接続されていても、サポートされているドライブでない場合、[選択したドライブではこの機能はサポートされていません。] というメッセージが表示されます。
   → サポートされているドライブのリストについては、本書の「システム要件」を参照してください。

3. ソースドライブが RAID グループまたはストレージプールにある場合、この製品を使用できますか?
   → このソフトウェアは、RAID 構成をサポートしていません。
   → ドライブが、Windows でサポートされているストレージプールにある場合、ソフトウェアでは 1 つのソースドライブのみをサポートできるため、ストレージ領域を削除してから、ストレージプールを削除する必要があります (ストレージプール構成を削除する場合、ストレージ領域内のデータがフォーマットされることに注意してください)。

4. このソフトウェアを実行する前に、何かチェックする必要がありますか?
   → ソースドライブの状態により、複製が失敗することがあるため、複製する前にソースドライブのチェックを実行することをお勧めします。

* ソースドライブでチェックを実行する方法

a. chkdsk /f を実行してドライブをチェックします
   → 管理者として [ファイル名を指定して実行] ボックスに「cmd」コマンドを入力し、[Enter] キーを押します。「chkdsk /f」と入力し、[Enter] キーを押します。再起動して、ドライブに問題があるかどうかを確認します。

b. sfc /scannow を実行して、システムをチェックします

→ 管理者として [ファイル名を指定して実行] ボックスに「cmd」コマンドを入力し、[Enter] キーを押します。「sfc /scannow」と入力し、[Enter] キーを押します。Windows のシステムファイルに問題があるかどうかを確認します。

→ Windows のシステムファイルに問題があるためドライブを復元できない場合、複製が失敗することがあります。

5. ソースドライブのリカバリパーティションも複製されますか?

→ 工場出荷時にコンピューターメーカーによって作成された OEM パーティションは複製されません。ただし、コンピューターメーカーが Samsung であり、SRS (Samsung Recovery Solution) 5、SRS 6、または SRS 7 がインストールされている場合は、自動的に複製されます (SRS 5 より古いバージョンはサポートされていません)。

2. 複製の失敗

1. 「仮想メモリページングファイルなし」オプションに変更します。

→ [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [システム] > [システムの詳細設定] を選択します。[詳細設定] タブを開き、[パフォーマンス] の [設定] をクリックします。[パフォーマンスオプション] ダイアログの [詳細設定] タブを開き、[仮想メモリ] の [変更] をクリックします。[すべてのドライブのページングファイルのサイズを自動的に管理する] チェックボックスをオフにし、[ページングファイルなし] ラジオボタンを選択します。[OK] をクリックしてから、コンピューターを再起動します。

2. ドライブのチェック、システムのチェック、ドライブのデフラグ、ドライブの最適化を行います。

→ ドライブおよびシステムをチェックする方法については、「FAQ 1-2-4.」を参照してください。

→ ドライブをデフラグおよび最適化する方法については、以下を参照してください。

* ドライブをデフラグおよび最適化する方法

a-1. 検索バーに「ドライブのデフラグと最適化」と入力し、[Enter] キーを押します。

a-2. [この PC] をクリックし、[ローカル ディスク (C:)] を右クリックします。[プロパティ] を選択し、[ツール] タブを開き、[ドライブの最適化とデフラグ] の [最適化] をクリックします。

a-3. [ファイル名を指定して実行] ボックスに「dfrgui」または「dfrgui.exe」と入力し、[Enter] キーを押します。

b. Windows がインストールされているボリュームを選択し、[分析] をクリックします。分析が完了したら、[閉じる] をクリックします。

c. Windows がインストールされているボリュームを選択し、[最適化] をクリックします。最適化が完了したら、[閉じる] をクリックします。

3. システム復元ポイントファイルを無効化します。

→ [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [システム] を選択します。[システムの保護] タブを選択し、[構成] をクリックします。[システムの保護を無効にする] ラジオボタンを選択し、[OK] をクリックします。

4. コンピューターを再起動し、C: ドライブ ボリュームを拡張または縮小します。
→ [ファイル名を指定して実行] ボックスに「diskmgmt.msc」と入力し、[Enter] キーを押して [ディスクの管理] を開きます。Windows がインストールされている C: ドライブボリュームを縮小または拡張します。
→ コンピューターを再起動します。ターゲット ドライブを接続して、ソースドライブをターゲットドライブに複製します。

5. BitLocker (Windows のセキュリティプログラム) を無効にします。
→ 以下の場合は、BitLocker が有効になっていないかを確認します。
→ プロセスが 0% から進まない。
→ [データ移行は不明な理由で停止しました。] というエラー メッセージが表示される。

* 以下の場合、BitLocker が自動的に有効になっています。
a. オペレーティング システムが Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、または Windows 10 である。
(一部の Windows エディションでは利用できない場合があります。)
b. TPM が有効になっている (BIOS の TPM オプションがオン)。
c. UEFI セキュアブートが有効になっている (BIOS の TPM オプションがオン)。
d. Microsoft アカウントでサインインしている。

* BitLocker を無効にする方法
a. [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [BitLocker ドライブ暗号化] を選択し、[BitLocker を無効にする] をクリックします。
b. ドライブが復号されると、BitLocker は無効になります (データ量が大きい場合は復号プロセスに時間がかかる場合があります)。
c. BitLocker が正常に無効になると、オペレーティングシステムのドライブから南京錠アイコンが消えます。

* ドライブの状態を [BitLocker はアクティブ化を待機中です] から変更する方法
a. Windows 10 Pro などの一部のオペレーティングシステムでは、BitLocker が既定で常にアクティブ化を待機しています。
b. BitLocker が有効で、ロックされていない錠前のアイコンが表示されている場合、アイコンをクリックします。これによりアイコンはロックされた錠前に変わりますが、BitLocker は有効のままです。アイコンを再度クリックすると、ドライブ暗号化は無効になります。
c. BitLocker が正常に無効になると、オペレーティングシステムのドライブから錠前のアイコンが消えます。

6. その他のセキュリティプログラムを無効にします。
→ 現在実行されているセキュリティプログラムや復元プログラムを停止するか閉じてから、複製を開始します。
→ タスクマネージャーの [プロセス] タブに「Nasca」で始まるプロセスが表示される場合、これはセキュリティ

プログラムの一種であるため、複製を開始する前にアンインストールします。
→ MBR 保護を提供するプログラムの場合は、MBR 保護オプションを無効にします。

3. 製品のアンインストール

1. このプログラムをアンインストールするにはどうすれば良いですか?
→ [コントロールパネル] > [プログラムのアンインストール] を選択します。リストから [Samsung Data Migration] を選択し、プログラムをアンインストールします。
→ または、[設定] > [アプリと機能] を選択して、リストから [Samsung Data Migration] を選択し、プログラムをアンインストールします。

End of Document

2020 年 1 月

www.samsung.com/ssd

www.samsung.com/samsungssd

すべてのブランド名と製品名は各社の商標です。

本書の構成および内容は予告なく変更される場合があります。

©2020 Samsung Electronics Co., Ltd. All rights reserved.

SAMSUNG